

関係各位

2025年3月25日
一般社団法人リビングアメニティ協会

2025年度 ALIA調査報告書3件 発表 ～ 住宅建材・設備関連の消費者ニーズ等の調査 ～

一般社団法人リビングアメニティ協会（以下「ALIA」、東京都千代田区 会長 内藤 弘康（リンナイ株式会社 代表取締役社長））はこの度、住宅建材・設備に関する消費者意識等の調査について以下の3件の報告書を作成しました。

なお、報告書の概要はALIAのホームページ（下記URL）にて公開しています。

1. 「子育て世帯の住宅ニーズ把握調査」（ALIAリフォーム・施工部会）

<https://www.alianet.org/report/2025report01/>

少子化対策に寄与する「子育てしやすい環境」の整備に向けて、リフォームで解決できる課題にはどういったものがあるかを明らかにしました。具体的には新築／既存、戸建／マンション、持家／賃貸、リフォーム実施有無といった住宅形態別に、子育て世帯がどのような困りごとを抱えているかを把握することで、既存住宅特有の問題点を明確化しました。

2. 「高齢者の住まいに関する意識調査」（ALIA消費者・制度部会）

<https://www.alianet.org/report/2025report02/>

日本は世界でも有数の高齢化が進んだ国であり、その状況は今後さらに深刻化することが予測されています。「70歳以上の親と別居している子供」を対象に、「親に住んでほしい住環境」を聴取しました。子供の立場から、高齢者が健康状態を長く維持し、安全に暮らせる住宅のイメージや、現在の住宅で感じている困難や課題、必要と感じている設備や要望、新しい住宅設備の導入に前向きになるために重要となる要素等を、調査しました。

3. 「2050年カーボンニュートラルに貢献する省エネ建材・設備および再エネ設備の消費者の認知度把握調査（リフォーム編）」（ALIA環境部会）

<https://www.alianet.org/report/2025report03/>

2050年カーボンニュートラルの実現に向け、住宅分野においては2030年度以降、ZEH水準の省エネ性能をもつ新築住宅が求められています。また、5千万戸以上の既存住宅への対応も不可欠のなか、高性能建材や高効率設備の導入検討は必須となります。

そこで、3省連携の住宅省エネ化施策や、住宅設備メーカーの訴求活動に関して、その認知度等を把握する調査を実施することで、今後の課題を抽出し、さらなる普及促進に活かします。

なお、2024年度には新築住宅購入時の意識について調査を行っており、今年はその「リフォーム編」となります。

これらの調査報告書全文は、基本的に会員限定で公開しておりますが、詳細については下記までお問合せください。

【一般社団法人リビングアメニティ協会（ALIA）とは】

ALIAは、住宅設備および建材に関わる企業など124社・団体で構成されています。協会の目的は「優良な住宅部品の普及により快適な住環境の実現を目指す」ことにあり、機能的で良質な住宅部品の供給促進と快適な住空間づくりのための調査研究や情報の収集・発信に積極的に取り組んでいます。

(本件のお問合せ先)

一般社団法人リビングアメニティ協会 事務局 津久浦

TEL: 03-5211-0540 FAX: 03-5211-0546

E-mail: aliainfo@alianet.org

URL : <https://www.alianet.org/>